

## 1. 【化学品及び会社情報】

製品の名称	修正液 ミスノ A-18R
化学品の名称	A-18R
製造事業者の会社名称	株式会社カズキ高分子
住所	島根県出雲市長浜町849-4
担当部門	品質保証
電話番号	0853-28-2840
FAX	0853-28-0280
製品番号(SDS番号)	NE-0910
供給者の会社名称	株式会社ライオン事務器
住所	東京都中野区東中野 2-6-11
電話番号	0120-074416
緊急連絡電話番号	0120-074416
推奨用途	文字の修正液

## 2. 【危険有害性の要約】

## GHS 分類

## 物理化学的危険性

引火性液体 区分 2

## 健康に対する有害性

急性毒性(経口)	区分 4
急性毒性(経皮)	分類できない
急性毒性(吸入:気体)	分類対象外
急性毒性(吸入:蒸気)	分類できない
急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性/刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷/眼刺激性	区分 2B
呼吸器感受性	分類できない
皮膚感受性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	区分 2
生殖毒性	分類できない
生殖毒性・授乳状況	分類できない
特定標的臓器毒性(単回ばく露)	区分 3(麻酔作用)
特定標的臓器・全身毒性(反復ばく露)	区分 1(呼吸器)
誤えん有害性	分類できない

## 環境に対する有害性

水生環境有害性 短期(急性)	区分 1
水生環境有害性 長期(慢性)	区分 1
オゾン層へ有害性	分類できない

## GHS ラベル要素

## 絵表示



## 注意喚起語

危険

## 危険有害性情報

H225-引火性の高い液体および蒸気、  
H302-飲み込むと有害、  
H320-眼刺激、  
H336-眠気又はめまいのおそれ、  
H351-発がんのおそれの疑い、  
H372-長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器の障害、  
H410-長期継続的影響によって水生生物に非常に強い毒性

## 注意書き [安全対策/応急措置]

## [安全対策]

- P201-使用前に取扱い説明書を入手すること。  
 P202-全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
 P260-粉じん/煙/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。  
 P261-粉じん/煙/ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。  
 P264-取扱い後は手をよく洗うこと。  
 P270-この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。  
 P271-屋外又は換気の良い区域でのみ使用すること。  
 P280-保護手袋、保護眼鏡、保護面を着用すること。  
 P284-【換気が不十分な場合】呼吸用保護具を着用すること。

## [応急措置]

- P301+P312-飲み込んだ場合:気分が悪いときは医師に連絡すること。  
 P304+P340 吸入した場合、空気の新鮮な場所へ移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。  
 P305+P351+P338 眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを容易に外せる場合には外して洗うこと。  
 P308+P313-ばく露又はばく露の懸念がある場合:医師の診察/手当てを受けること。  
 P312-気分が悪いときは、医師に連絡すること。  
 P314-気分が悪いときは医師の診察/手当てを受けること。  
 P330-口をすすぐこと。  
 P337+P313 眼の刺激が持続する場合は医師の診断、手当てを受けること。  
 P391-漏出物を回収すること。

## [保管]

- P403+P233-換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。  
 P405-施錠して保管すること。

## [廃棄]

- P501-内容物や容器を、都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業者に業務委託すること。

## 3. 【組成・成分情報】

化学物質・混合物の区別

混合物

## 組成及び成分情報

化学名	化管法指定化学物質の種別	CAS RN	化審法	安衛法	含有量%
MCH	既存化学物質	108-87-2	3-2230	576	50-60
二酸化チタン	既存化学物質	13463-67-7	1-558	191	25-35
スチレン・ブタジエンブロック共重合体	既存化学物質	9003-55-8	6-134	公表化学物	5-10
添加剤		N.R.	N.R.	非該当	1-5
水酸化アルミニウム	既存化学物質	21645-51-2	1-17	非該当	1-5
シリカ(二酸化ケイ素)		7631-86-9	1-548	312	1-5
アルミノケイ酸ナトリウム		N.R.	N.R.	非該当	1-5
添加剤		N.R.	N.R.	非該当	<1
エチレングリコール	優先評価化学物質	107-21-1	2-230	76	<1
分散剤		N.R.	N.R.	非該当	<1
シリコーン		N.R.	N.R.	非該当	<1
カーボンブラック		1333-86-4	5-5222	130	<0.1

※N.R. = Non-Release.

## 4. 【応急措置】

- 吸入した場合 本人を風通しの良い場所へ移動させ、保温・安静に努める。必要ならば人工呼吸、酸素吸入を行う。医師の診断を受ける。
- 皮膚に付着した場合 汚染された衣類・靴等を脱がせ、水又は微温湯で流しながら、石鹸を使って皮膚をよく洗い流す。痛み、炎症があれば医師の処置を受ける。
- 目に入った場合 清浄な流水で15分以上洗眼した後、痛みが残る場合は直ちに眼科医 手当てを受ける。洗眼の際、瞼を指で開いて、瞼、眼球の隅々まで水がよくいきわたるように洗う。
- 飲み込んだ場合 主溶剤が揮発性液体なので吐き出させると却って危険である。直ちに医師の診断を受ける。意識のない被災者には口から何も与えてはならない。

## 5. 【火災時の処置】

適切な消火剤	粉末、炭酸ガス、泡、乾燥砂
使ってはならない消火剤	情報なし
消火方法	初期の火災には、粉末、炭酸ガス、乾燥砂などを用いる。 棒状水の使用は、火災を拡大し危険な場合がある。 周辺火災の場合、周囲の設備等に散水して冷却する。移動可能な容器は、速やかに安全な場所に移す。 消火作業の際には必ず保護具を着用する。火災発生場所の周辺に関係者以外の立入りを禁止する。

## 6. 【漏出時の処置】

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置  
風下の人を避難させる。漏出した場所の周辺にロープを張る等して人の立入りを禁止する。  
作業の際には、必ず保護具を着用し、蒸気の吸入や皮膚に触れることを防止する。  
蒸気発生が多い場合は、噴霧注水で蒸気発生を抑制する。

## 環境に対する注意事項

流出した製品が河川等に排出され、環境への影響を起こさない様に注意する。  
少量の場合、漏洩液は土砂等に吸収させて蓋付容器に回収する。  
多量の場合、土砂などで流れを止め、液の表面を泡で覆った後回収する。

封じ込め、浄化の方法及び機材 情報なし

## 7. 【取扱い及び保管上の注意】

取扱い上の注意事項  
取扱場所周辺では火気、静電気、衝撃火花等の着火源の存在を厳禁する。  
静電対策を行い、作業衣、安全靴は導電性のものを用いる。  
液の漏洩及び蒸気の発散を極力防止する。  
蒸気発生する場所には局所排気装置を設ける。  
接触・吸収の恐れある時は個人保護具を着用する。

## 保管上の注意事項

直射日光を避け、換気の良い冷暗所(5-40°C)に保管する。  
着火源、高温物等を近づけない。  
酸化性物質他混触禁止物質と共存させない。  
容器は密閉し、蒸気の発生を防ぐ。

## 8. 【暴露防止及び保護措置】

化学名	管理濃度	許容濃度(日本産業衛生学会)	許容濃度 ACGHI(TWA)
MCH	N.S	400ppm	400ppm
二酸化チタン		4mg/m3	4mg/m3
スチレン・ブタジエンブロック共重合体			
添加剤	なし	N.S.	N.S.
水酸化アルミニウム			
シリカ(二酸化ケイ素)			
アルミノケイ酸ナトリウム			
エチレングリコール	N.S.	N.S.	N.S.
分散剤	N.S.	N.S.	N.S.
シリコーン			
カーボンブラック	3mg/m3	1mg/m3 粉塵	1mg/m3 粉塵

設備対策 取扱い場所の近くに、洗眼及び身体洗浄のための設備を設ける。

保護具 呼吸器の保護具 ……有毒ガス用防毒マスク

## 9. 【物理的及び化学的性質】

物理状態	低粘性液体
色	白色
臭い	特有の香気
沸点又は初留点及び沸点範囲	101°C(MCH)
可燃性	データ無し
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界	データ無し
引火点	-4.3°C(MCH)
自然発火点	245°C(MCH)
分解温度	データ無し
pH	データ無し
動粘性率	データ無し
蒸気圧	4.93kPa(MCH)
密度及び/又は相対密度	1.09
相対ガス密度	データ無し
粒子特性	データ無し

## 10. 【安全性及び反応性】

安定性	通常の取扱条件においては安定である。
避けるべき条件	特になし。
混触危険物質	情報なし
有害な分解生成物	情報なし

## 11. 【有害性情報】

製品の有害性情報	情報なし
成分の有害性情報	

化学名	急性毒性(経口)	急性毒性(経皮)	急性毒性(吸入/蒸気)	急性毒性(吸入:粉じん、ミスト)
MCH	No data			
二酸化チタン	10000mg/kg			
スチレン・ブタジエンブロック共重合体				
添加剤	64cm3/kg			
水酸化アルミニウム				
シリカ(二酸化ケイ素)				

化学名	皮膚腐食性/刺激性	眼に対する重篤な損傷性 / 眼刺激性	呼吸器感受性	皮膚感受性
MCH				
二酸化チタン				
スチレン・ブタジエンブロック共重合体				
添加剤				
水酸化アルミニウム				
シリカ(二酸化ケイ素)				

化学名	生殖細胞変異原性	発がん性	生殖毒性	生殖毒性 ・授乳影響
MCH				
二酸化チタン				
スチレン・ブタジエンブロック共重合体				
添加剤				
水酸化アルミニウム				
シリカ(二酸化ケイ素)				

化学名	特定標的臓器毒性 (単回ばく露)	特定標的臓器毒性 (反復ばく露)	誤えん有害性	
MCH				
二酸化チタン				
スチレン・ブタジエンブロック共重合体				
添加剤				
水酸化アルミニウム				
シリカ(二酸化ケイ素)				

---

**12. 【環境影響情報】**

製品の環境影響情報	情報なし
成分の環境影響情報	
生態毒性	ヒメダカ LC50 5.02mg/l (MCH)
残留性・分解性	BOD20=0%難分解度 (MCH)
生態蓄積性	データ、文献無し
土壤中の移動性	情報なし
オゾン層への有害性	情報なし
他の有害影響	情報なし

---

**13. 【廃棄上の注意】**

## 残余廃棄物

廃製品・廃容器は産業廃棄物として処理する。

取扱い及び保管上の注意の項の記載による他、引火性の強い・有害性液体に関する一般的な注意事項による。

## 汚染容器及び包装

容器は洗浄してリサイクルするか、関連法規制ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

空容器を廃棄する場合は、内容を完全に除去すること。

---

**14. 【輸送上の注意】**

## 国際規制

国連番号: 2296

品名(国連輸送名): メチルシクロヘキサン

品名(国連輸送名 英名): Methylcyclohexane

分類又は区分: 区分 3 引火性液体(MCH)

容器等級: II

## 国内規制

陸上: 消防法、道路法に従う。

海上: 船舶安全法に従う。

航空: 航空法に従う。

---

**15. 【適用法令】**

消防法: 危険物第4類第1石油類(非水溶性液体)

安衛法: 危険物(引火性のもの)

有機則 第2種有機溶剤

通知対象物質

船舶安全法: 中引火点引火性液体

海洋汚染防止法: 有害性液体物質(C類物質)

---

**16. その他の情報**

本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成しており、記載内容は新しい知見により改訂されることがあります。

また、特殊な取扱いの場合には、用途、用法に応じた安全対策の上ご使用下さい。

なお、本資料の記載内容は、情報提供であって補償するものではありません。

---